

【大会特別規則】

2016.5.30

1. スタート方式

各クラス共通安全確保のためMOTOによるローリングスタートとする。
ローリング中の事故による正式スタートの延期はしない。

2. タイムアウト

先頭選手から1分を越える選手は、タイムアウトとし、コースから除外する。
コントロールラインで赤旗掲示、音声により通告する。
その他の場所においても適宜、監察、移動審判員の指示に従うこと。

3. ニュートラリゼーション

- (1)各クラスのレースにおいて1周回のニュートラリゼーションを認める。但し、地上もしくは移動審判員により認定を受けない場合はニュートラリゼーションを認めない。
復帰する際には審判員の指示に従い、事故時位置していた集団の後方に復帰する。
- (2)適用条件は「落車」「パンク」「自転車の重要部品の破損」のみに限られる。
その他の理由（変速不良、体調の悪化等）ではニュートラリゼーションは認められない。
- (3)残り3周回以降はニュートラリゼーションによる復帰を認めない。

4. ニュートラルサービス

- (1)本大会ではニュートラルサービス（共通機材の提供）は実施しない。
- (2)チームサポートによる機材補給は、西門前、テニスコート裏の機材ピットでのみ認められる。

5. 飲食料の補給

飲食料の補給は全クラスで実施しない。
競技者は、コースや競技会場に食料、食料袋、ボトル、ゴミなどの投棄をしてはならない。

チーフコミセール
岡本 昌明
以上